

予 算 要 求 資 料

令和4年度6月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 【新】森林サービス産業緊急支援事業費補助金（省エネ対策）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

林政部 森林活用推進課 森林サービス産業支援係 電話番号：058-272-1111(内3031)

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 10,000 千円 （現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額									

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症や健康志向の高まりから、森林空間を生かした野外活動やアクティビティが注目されている。森林サービス産業事業者は、事業規模が小さく、自己資金による投資が困難なうえ、既存の支援も不足している。

原油価格や物価高騰等により、燃料代や電気代等の運営コストが上昇し、森林サービス産業の経営を圧迫している。

森林空間を活用した森林サービス産業の基盤を強化し、産業を活性化させるため、省エネ効果の高い設備への改修等について支援する。

（2）事業内容

- 原油価格や物価高騰の影響を軽減するための支援
 - ・既存設備を省エネ効果の高い設備に改修
（電灯のLED化、ボイラー等改修、自然エネルギーの活用）
（補助対象事業費 上限5,000千円、下限500千円）

(3) 県負担・補助率の考え方

県 2/3 (ウィズコロナ、アフターコロナを見据えて、原油価格や物価高騰等の影響を軽減し、山村地域における森林サービス産業の持続的な発展、活性化を支援するため、国の交付金を活用し、国、県、事業者で按分負担とする。)

(4) 類似事業の有無

森林空間施設整備促進事業及び森林サービス産業施設整備への支援は、市町村の施設に対する施設の設置及び改修整備にかかる支援である。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	
合計	10,000	

決定額の考え方

--

4 参考事項**(1) 各種計画での位置づけ**

第4期岐阜県森林づくり基本計画

第3 森林の新たな価値の創造と山村地域の振興

1 森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興

(2) ぎふ木育30年ビジョンの実現に向けた「ぎふ木育」の新たな展開

(2) 国・他県の状況

国：森林サービス産業（健康経営分野）モデル事業を実施

(R2年度：16地域支援（県内1地域含む）、R3年度：7地域支援)

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

ウィズコロナ、アフターコロナを見据えて、森林サービス産業事業者等を支援することは、山村地域における持続的な産業の育成を図るために重要である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	【新】森林サービス産業緊急支援事業費補助金（省エネ対策）
補助事業者（団体）	県内で活動する森林サービス産業にかかる民間事業者 （理由）山村地域の持続的な発展を確保するため、森林サービス産業に取り組む民間事業者に対し支援を実施
補助事業の概要	（目的）原油価格や物価高騰等の影響を受ける事業者の負担軽減 （内容）省エネ効果の高い設備への改修に係る支援
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）運営コスト軽減の支援：補助率 2/3 以内 ・省エネ効果の高い設備に改修 補助対象事業費 上限5,000千円 下限 500千円 （理由）原油価格や物価高騰等による影響を受けた事業者の負担軽減のため
補助効果	山村地域において、森林サービス産業事業者の持続的な産業の推進
終期の設定	終期 令和4年度 （理由）新型コロナウイルス感染症対策対応地方創生臨時交付金を活用予定の事業のため

(事業目標)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか ・ 山村地域において、森林サービス産業事業者の持続的な産業の推進
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	原油価格や物価高騰等の影響を受けた事業者の負担を軽減する費用であり、事業の必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 山村地域では、森林、清流、農村景観など素晴らしい素材があるものの、その素材を生かし、都会から人を呼び込み、収益構造を作り上げる人材や体験メニューが不足している。また、若者は地域に魅力的な働く場所が少ないためやむを得ず都会に流出している。森林空間等の活用により山村地域で新たな雇用と収入機会を生み出す森林サービス産業の振興が必要
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 原油価格、物価高騰等の動向に注視しながら、森林の新たな価値の森林サービス産業の育成に必要な施策を講じていく。
--